学校番号	３１８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）文学特講	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	新演習古文アチーブ３（桐原書店） プレミアムカラー国語便覧（数研出版）・Key&Point 古文単語 330（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年次までの古典学習を発展させ、３年次の古典特講での基本的な学習と並行して、さらに入試にも対応できる古文読解の力を身につけていきます。
・授業は演習が中心になりますので、設問に答えていく際にポイントとなる語彙や文法事項はその都度覚えてしまうよう努力するとともに、設問のパターンに慣れましょう。
・授業に集中して取り組むのはもちろんのことですが、特に復習に力をいれてください。
正しく文意や心情を理解するための古典常識（時代背景など）を確認し、語彙力や文法の知識をひとつひとつ確実に習得していきましょう。
・小テストや定期考査に向けて、家庭学習の習慣をつけましょう。
・提出物の期限は守りましょう。
以上、粘り強い学習の継続を期待しています。

2　学習の到達目標

古文を読み深く味わうことができる。
入試にも対応できる古文読解の力を身につける。
（ａ）基本的な古語単語の意味、古文文法、古典常識などを正しく理解し、古文などを読むことを通して我が国の伝統的な言語文化の特質について深く理解することができる。
（ｂ）文章の種類をふまえて、その構成や展開、文章の内容や登場人物の思いを的確に捉え、深く共感したり豊かに想像したりする力をのばし、先人のものの見方、感じ方、考え方にふれることで自分の思いや考えを深めることができる。
（ｃ）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して社会と関わろうとする態度を養い、また学習について自分で見通しをもち、自分の成果を振り返りながら粘り強く取り組もうとすることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	発心集・徒然草・枕草子	古語・語の識別 「に」の識別 「ぬ」の識別 陳述の副詞の訳し方 つゆ・え・な 敬語動詞の訳し方 反実仮想の構文 思考(長明・兼好・清少納言) 出家・遁世・無常観 平安貴族社会の機智的会話	a：古文を読むために必要な語彙・文法を身につけている。 b［読］：書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解している。 c：学習課題に沿って自分の考えを的確に伝え、表現することができる。積極的に話し合いに参加しようとしている。	・小テスト ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・発問評価 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・学習課題集の提出
	源氏物語・中古文学作品	古語 副助詞・係助詞・接続助詞 思考　平安貴族の生活 死別(3か所読み比べ)	a：古文を読むために必要な語彙・文法を身につけている。 b［読］：書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解している。 c：学習課題に沿って自分の考えを的確に伝え、表現することができる。積極的に話し合いに参加しようとしている。	・小テスト ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・発問評価 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・学習課題集の提出
	日記・物語	古語 副助詞・終助詞 思考　平安貴族の生活 和歌の修辞	a：古文を読むために必要な語彙・文法を身につけている。 b［読］：書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解している。 c：学習課題に沿って自分の考えを的確に伝え、表現することができる。積極的に話し合いに参加しようとしている。	・小テスト ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・発問評価 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・学習課題集の提出

2学期	歴史物語	「なり」の識別 「し」の識別 「らむ」の識別 思考　平安貴族の仏教観	a：古文を読むために必要な語彙・文法を身につけている。 b［読］：書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解している。 c：学習課題に沿って自分の考えを的確に伝え、表現することができる。積極的に話し合いに参加しようとしている。	・小テスト ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・発問評価 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・学習課題集の提出
	近世の文学	「る」「れ」の識別 「なむ」の識別 和歌～俳諧	a：古文を読むために必要な語彙・文法を身につけている。 b［読］：書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解している。 c：学習課題に沿って自分の考えを的確に伝え、表現することができる。積極的に話し合いに参加しようとしている。	・小テスト ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・発問評価 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・学習課題集の提出
	問題実践演習	既習の項目の復習と実践力の養成	a：古文を読むために必要な語彙・文法を身につけている。 b［読］：書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解している。 c：学習課題に沿って自分の考えを的確に伝え、表現することができる。積極的に話し合いに参加しようとしている。	・小テスト ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・発問評価 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・学習課題集の提出
3学期	問題実践演習	既習の項目の復習と実践力の養成	a：古文を読むために必要な語彙・文法を身につけている。 b［読］：書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解している。 c：学習課題に沿って自分の考えを的確に伝え、表現することができる。積極的に話し合いに参加しようとしている。	・小テスト ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・発問評価 ・学習課題集の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・学習課題集の提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入してください。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　70　）時間